

裏千家記念茶道行事開会式（10月11日） 村田大使ご挨拶

コソネン大臣、
ご来賓の皆様、

駐フィンランド日本国大使の村田隆です。日本とフィンランドの外交関係樹立100周年を記念した茶道行事が開催できることを大変喜ばしく思います。共催される裏千家、関西日本・フィンランド協会並びに裏千家淡交会フィンランド協会をはじめ全ての関係者の御尽力に深く感謝申し上げます。

また、千玄室大宗匠におかれましては、2004年、2009年に続いて、日本とフィンランドの外交関係樹立100周年という大変意義深い節目の年に再び当地へお越しいただきました。千玄室大宗匠は、『一碗からピースフルネスを』という理念の下、海外での茶道行事の開催、海外からの留学生受け入れ、茶室の寄贈等を通じて、茶道という日本が誇る伝統文化の普及、茶道を通じた世界平和への祈り、そして世界平和の根幹とも言える人と人とのつながりの大切さを説いてこられました。

フィンランドとの関係では、千玄室大宗匠は関西日本フィンランド協会の会長を務められている他、1987年の留学生交換協定の締結、2004年のスオメンリンナ島への茶室「徳有庵」の寄贈等、両国の文化交流と友好親善の促進に多大なる貢献をされてこられました。千玄室大宗匠の御尽力に深く敬意を表します。

さて、外交関係100周年を迎えた日本とフィンランド両国の関係は近年著しく発展しています。両国間には既に週41便の直行便が運航し、年間約15万人もの人々が往来しています。2月には防衛協力・交流に関する覚書、JETROとビジネス・フィンランドの相互協力強化に関する覚書、そして先月には社会保障協定がそれぞれ署名されました。政治、ビジネス、安全保障、文化等様々な分野で両国の結びつきは益々強まっています。

100年に及ぶ両国の確固たる友好関係の礎は、様々な分野において連綿と培われてきた深い相互理解と信頼関係に基づく人と人との絆です。これは平和の礎でもあります。本日の記念行事を通じて、参加される皆様とともに相手のことを思いやるという茶道の心に触れられることは誠に意義深いものであります。新たな100年に向けて両国の人々の輪がさらに広がり、その結びつきを強めていかれることを心より祈念して、ご挨拶とさせていただきます。

（了）